

2007年12月号

ほくし

発行所

社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールバール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046



去る平成一九年十月一六日(火)に大阪歯科大学歯科保存学講座の吉川一志先生を講師に招き、「歯科治療へのレーザーの応用・それぞれのレーザーの特徴」と題した講演が行われた。吉川先生は、多くのレーザーに対して、基礎的な研究から臨床応用まで幅広くかけておられ、そのご経験から各レーザーの長所・短所をわかりやすく、かつ実践に即した内容でお話しいただいた。ご講演では、どのような治療においても患者さんの症状を改善することが目的となるため、どの種類のレーザーをどのような

学術講演会

「歯科治療へのレーザーの応用 それぞれのレーザーの特徴」

H19.10.16

反応などが異なることから、軟組織処置に適しているレーザーと硬組織処置に適しているレーザーとがあることを示された。

照射方法においても、連続照射と断続照射とは熱



に使用するかを決定する上で、診断が最も重要であることを強調された。また、大きく二つに分けて波長の短いレーザー(半導体、Nd・YAGなど)と長いレーザー(炭酸ガス、Er・YAGなど)とで、組織浸透度や熱温度、色に対する

冒頭に黒川会長が挨拶に立ち、「明日の診療に役立つよう、講義を上手に聞き取るう。」と述べられました。

講義内容は「保険診療の手引き」に沿って多岐に渡り詳細な説明がありました。早見表・一覧の活用も勧められました。また、個別指導に対する守りとして、カルテ、DH業務記録、技工指示書および納品書、レントゲン、カラー写真、模型および平衡測定(特に6歯

去る平成一九年十月三〇日(火)、梅田玉姫殿にて府歯指導型医療保険講習会が行われました。今回も講師に府歯医療保険担当常務理事の近森先生をお招きし、「保険診療の手引き」の後半を中心に解説して頂きました。

医療保険講習会(府歯指導型)

H19
10.30

の蓄積量が異なることや、断続照射であってもその効果がうまく発揮されない場合があるなど、使用説明書にも記載されていない臨床上のポイントなども述べられた。最後に、臨床の進歩というのは「今までできなかったことができるようになる」「今までできていたことがより安全に行える」

「治療結果が同じであることが前提で期間が短くなる」という三点から評価すべきであるが、レーザーの現状は、この二点目、三点目にあるのではないかと、として締めくくられた。最新の情報や具体的な使い方も含めたご講演で、会員にとつて非常に有意義な内容であった。(学術部・浦野智記)



以上のB r)、材料の納品伝票、領収書、情報提供文書の重要性について解説がありました。

最後に高麗副会長が「保険のルールを踏まえて戦略的に頑張ろう。」と述べられ、充実した講習会を終えました。

(医療保険部・中谷徹記)

パノラマ

今年一月、札幌医科大学付属病院脳神経外科で、日本で初めての治療法の臨床試験が始まった。それは、脳梗塞で傷ついた脳の神経を、自らの細胞で再生させようという試みである。骨髄の幹細胞と呼ばれる細胞を体内から取り出し培養、患者の血管に注入すると、傷ついた脳の神経が再生するというのである。

また、自らの骨髄の細胞を使った再生治療は、脳だけでなく心臓でも始まっている。ドイツでは心筋梗塞患者が骨髄の細胞で治療を行い、傷ついた心筋細胞が復活し、スポーツが出来るまでに回復している。

また先日、ヒトの皮膚細胞から『あらゆる細胞に分化できる「万能細胞」を作ることに』京都大学再生医科学研究所の山中伸弥教授らが初めて成功した。

培養条件を変えることにより『この細胞が』神経細胞や心筋細胞などに変化できる「万能性」を備えた「人工多能性幹細胞(iPS細胞)」だと確認された。

人体に秘められた再生力には無限の可能性を感じさせる。

(H)

論説

医療制度改悪と コンプライアンス

副会長 中谷 勝

先日、三代目であるという歯科医が子供を歯科医にすべきかどうか悩んでいるという話をされ、心が痛みました。わが国の歯科医療は崩壊し始めているのかなと感じます。長期的視野を欠いた歯科医師増や医療は市場経済原理にはなじまないのに、財政だけを問題にした度重なる医療費のマイナス改定が行われ、患者負担も増える一方です。なのに、後期高齢者医療制度やレセプトオンライン完全義務化等、さらなる医療制度改悪が行われます。

北歯のモットーである聖徳太子十七条憲法の第一条冒頭部分は「和を以て貴しと為し、忤うこと無きを宗と為よ。」ですが第十七条の冒頭部分は「夫れ事は独り断ず可からず。必ず衆と共に宜しく論ずべし。」とあります。我々も声を上げて窮状を訴えつづけることが大切であると思います。

幸い今回の参院選では、職域代表を国会に送ることができました。会員の声を

反映しての活躍を期待して止みません。また府歯では機会あるごとに、要望書等を出し続けて頂いていることは大変有難い事だと思えます。

さて、時代のキーワードのひとつはコンプライアンス（法令順守）です。国会議員の事務所費問題等、社会のあらゆる所で問題が噴出しています。

一九九〇年まで、日本株式会社と揶揄されながらも、経済成功モデルであった日本も、グローバルスタンダードなる黒船に揺さぶられて、除々に市場経済原理に席卷されて来ました。企業や組織への忠誠心も薄れ、「黙秘の徳」も死語となり、世の中の不祥事の発端も内部からのリークによるケースが多くなってきました。

最近、病院では「医療事故謝罪マニュアル」を導入するところが増えてきたようですが、医療事故が発生したときは、「隠さない、ごまかさない、逃げない」姿勢が良い結果につながる

ということですが。

当然、我々も内に向かつては、コンプライアンスに気を配らなくてはなりません。

他方、外に向かつては、日本の平均寿命が示すように世界に冠たる素晴らしい国民皆保険制度を崩壊させ、医療担当者の声を反映しない理不尽な医療制度改悪には、一致団結し、声を上げて反対していきましょう。

医療管理講習会

H19
11.15

平成一九年十一月一日（木）、午後七時より梅田玉姫殿に於いて医療管理講演会が開催されました。

講師に府歯医業管理担当理事久山晃司先生をお招きし、「歯科診療所における医療安全を確保するために」と題してご講演いただきました。

歯科診療所における医療安全対策には四つの柱があり、①安全管理のための体制の確保②院内感染対策のための体制の確保に係る措置③医薬品に係る安全確保のための体制の確保に係る措置④医療機器に係る安全確保のための体制の確保に係る措置を丁寧に説明い

医療保険ゼミナール

H19
7.26

平成一九年七月二十六日（木）、北区歯科医師会事務所において医療保険ゼミナールが開催され、一八名の先生方のご参加を頂きました。今回のゼミナールは新たな試みとして、一枚のパノラマレントゲンとその症例概要を基に、保険請求の考え方についてディスカッションを行いました。症例概要は

以下の如くです。「約十年前に左下のインプラント治療および全顎治療を他医院でしたが、約一年前にインプラントの被せが脱離し食事できない。右側で食事をしていたら右下の奥歯も痛くなってきた。今回は保険で入れ歯を作ってほしい。」多岐にわたり意見交換が行われ、代表的なものは処置に対する傷病名、P処の特定薬剤、複数の手術を同時に行った時の「主たる処置」の解釈、同ブロックのSRPとFOPの取り扱い、HVS、歯牙移植、歯牙再植、歯根端切除、領収書の取り扱い等々でした。

医療保険部では、会員相互に本音でディスカッションできる場として今後も「医療保険ゼミナール」を開催して参ります。多数の先生方のご参加をお待ちしております。

（医療保険部・中谷徹記）



ただきました。

また時局としてレセプトオンライン化、後期高齢者医療制度についても説明していただきました。

出席者は四〇名でした。（医療管理部・中川晴彦記）

北区みんなの健康まつり

H19.10.27

去る平成一九年十月二十七日（土）、北区民センターにて第一九回北区みんなの健康まつりが行われた。今年のテーマは「健康イチバン、元気がイチバン」。小雨が時々ばらつく生憎の天気だったが例年のように多くの来場者が会場を埋め尽くした。



ただ医科のコナーの順番待ちに時間を取られた方が多く歯科まで来る時間がなかった方がおられたようだ。約一五〇人が歯科コーナーに来られ、うち五名の八〇二〇運動達成者がおられた。その五名の方には当支部より記念品をお送りする予定である。

（地域医療部・木下秀人記）

高垣雄二郎先生お別れ会

H19.8.18

平成一九年六月二十三日死去

御略歴 大正五年十月五日生

昭和十六年大阪歯科医学専門学校卒業

御自宅 神戸市東灘区本山北町六一一五二一

蒼く晴れ渡った晴天の下、平成一九年八月二八日(土)、去る六月二十三日ご逝去された故高垣雄二郎先生のお別れの会がヒルトン大阪にてしめやかに執り行われました。歯科界に留まらず、各界より多数の方が出席され、各々一輪の菊花を手にお別れの会に飾られたご遺影の前で最後のお別れを惜しみながら献花が行われました。

高垣雄二郎先生は昭和三十三年より六年間に亘り、大阪北区歯科医師会会長をお勤めになるとともに、昭和四十八年より八年間は大阪府歯科医師会副会長としての任に就かれ、歯科医師会に多大なご功績を残されました。また、鉄道に対する愛好心は趣味の域を越えて、日本のみならず国際的な鉄道事業の発展に大きく寄与するものでありました。さらにご出身校である甲陽学院の同窓会会長も引き受けられ、若人の育成にも尽力されました。



晩年は大阪北区歯科医師会が開催する「みおつくしの会」にご出席いただき、お元気なお姿を拝見できることを執行部一同楽しみにしておりました。大阪北区歯科医師会のみならず、各界の多くの方々にとつて、高垣先生のご逝去は大変大きな痛手ではありますが、長年に亘るご貢献に厚く感謝申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り申し上げます。(福祉Ⅱ部・野口秀夫記)

『高垣雄二郎先生ご逝去』

班外 青山 敏男

六月二十三日、先生のご逝去の訃報受け、その十日程前に柔和な先生のお顔に接し、それじゃ夏風邪を引

かぬ様にまた転ばぬ様にとお別れしたばかり、御令息のお話によればご逝去の三日ばかり前より居眠り状態が続き、黄泉の国へと旅立たれたとの事、高垣先生らしい心の乱れもなく安らかな大往生のご様子だったと伺いました。私が甲子園の甲陽学院に入学した時先生は先輩として在籍して居られ、それ以来同じコースを歩んで来しました。先生は趣味豊かでありますが中学時代は音楽部でハーモニカ演奏をこよなく愛され、終にはハーモニカバンドを結成しその指揮をされ、学藝会(文化祭)は勿論、全関西ハーモニカ競演会を大阪市北区中之島の中央公会堂で競演されました。又、大阪中央放送局JOBKから放送され、曲目は「ベルシャの市場にて」「行進曲ハイスクール」「行進曲旧友」「ハンガリー舞曲」は得意の曲だったのかよく演奏されました。遠く七十年前の中学時代の記憶を辿り在りし日の先生を偲びご冥福をお祈り致します。

「朝早く親しき友の訃報受け喪服の様な黒揚羽飛ぶ」「かくばかり静けきものか六甲の山並静か青き月の夜」「友送るお別れ会に懐かしき少年の日を思い出したり」

訃報



竹花 一 先生

平成一九年十月二十二日死去

御略歴

昭和十年二月二十三日生

昭和三十四年大阪歯科大学卒業

御自宅

池田市旭丘三十一一五二一

『竹ちゃんを偲ぶ』

第10班 西川 亨

突然の訃報、本当に唐突で、暫し我が耳を疑った。

竹ちゃんとは昭和四十年半ばより、本当に色々なことと一緒に生きていた。

昭和四十四年現在地に診療所を開設されて以来三十八年、地域の人々に信頼も厚く、又「タフガイ」の彼、多くの方々に慕われた。

この「ほくし」の生みの親であり、昭和四十六年丁度彼の三巡目の亥年、編集長として立派な雑誌形式の「ほくし」創刊号を発刊。

当時のメンバーは故清光淳夫、中西國男、黒川森夫

各位と小生と共に、会員の声「ふたことみこと」、会員家族の「うちのトウちゃん」等心温まるなごやかなもので、現在やがて一八〇号にならんとする歴史、次の年男までもう少し頑張ってほくしと共に楽しく生きて行きたいと願っていた亥年六巡目の彼、お先に次の世へ。

又大阪府歯科医師会理事、代議員等数々の要職を歴任、特に障害者治療に势力的に尽力、種々の表彰も受け、又、第十三回日本障害者歯科学会では大会長として重責を果す等、障害者歯科治療の発展に多大の功績は広く関係各位の等しく認めるところである。

一昨年には旭日双光賞を授章されたことは誠に名誉あることであつた。

一方家庭にあつてはご令室を深くいつくしみ、四名の可愛い、孫達にも恵まれ、余暇には二十年以上に渡つて朝日カルチャースクールで、ステンドグラスの製作にも楽しんでおられた。まだまだ遣り残したことがあつたであろうと思うと本当にやるせない。空しい気持ちでいっぱい。心からのご冥福を祈る。

「竹ちゃんどうかやすらかに」

福祉共済制度検討委員会発足

平成一九年九月一日(金)
午後七時三〇分より北区齒科医師会事務所において福祉共済制度検討委員会が黒川会長より諮問書が手渡され発足した。

委員長には橋本收先生が、副委員長に水沼和夫先生、大浦常務理事が選出され、委員には高麗副会長、大塚専務理事、野口常務理事、佐々木理事、三輪理事、横野監事が委嘱された。

この委員会は将来にわたり同制度が無理なく運営されるには、どのようにすれば最善かを先行的に協議する為に発足された。

今後、数回にわたり検討委員会が開催され協議される予定である。



H19.9.14

会員懇親会

秋を楽しむ会

H19.11.9

去る平成一九年十一月九日(金)、午後七時より梅田エスト内「神戸元町別館牡丹園」にて恒例の会員懇親会が行われました。

黒川会長の挨拶に続き、いつもお元気な安田良三先生の乾杯のご発声で始まりました。

お料理の内容は伊勢海老のオードブル、蟹肉入りフカヒレスープ、カキの広東風お好み焼き、神戸牛の広東風ステーキなど豪華な料理が食べ切れない程並び、秋の贅沢な食材と美味しいお酒に皆様方は秋の夜の一時を楽しんでおられました。総勢三九名の先生方にお

府歯ソフトボール大会

H19.9.16

毎年恒例の府歯ソフトボール大会が、本年度より同好会大会になり、その第一回が平成一九年九月一六日(日)、秋晴れの中、大阪歯科大学牧野(学舎)グラウンドで開催されました。

我が支部は西淀川区支部と対戦し、初回に一点を失い、続く二回も相手の猛攻により六点を追加されるという苦しい展開となりました。三回やっとペースを取り戻し三点を返しましたが、エンジンがかかるのが遅く、終わってみれば三対十三で



敗れました。試合後来年こそはと雪辱を誓う面々でありました。

集り頂き、大変賑やかで楽しい会になり最後は東郷副会長の閉会の挨拶にてお開きとなりました。

ご出席頂いた先生方、本当にありがとうございます。(福祉I・高畑栄夫記)

新入会員

1班・坂本 一彦

(大歯大・平成14年卒)



(診) 住友病院口腔顎

センター

(自) 中之島五三二〇

F 六四四三二二六

F 六四四四三九七五

(自) 大阪市西区南堀江四

二二一六〇五

F 四八六七三三二八

F 四八六七三三二八

11班・竹花 功

(大阪大・平成5年卒)



(診) 竹花歯科医院

(自) 梅田一三二二〇〇

F 大阪駅前第一ビル二F

F 六三三二七六〇四

F 六三三二七六〇四

(自) 池田市旭丘三二一

一七二七B

F 〇七二七六二〇七九

F 〇七二七六二〇七九

12班・吉田 健二

(大阪大・平成14年卒)



(診) 医療法人デンタルク

リニックデコール

梅田二二二二二

F ハービスエント六F

F 六三三二二四六一八

F 六三三二二四六一八

(自) 大阪市生野区田島五

六六五四一七一四九

12班・六人部 慶彦

(朝日大・昭和61年卒)



(診) むとデンタルクリニック

堂島二二二七シン

コービル一F

F 四九八一五四八三

F 四九八一五四八三

(自) 豊中市柴原町三八一三

六八四六三六七七

F 六八四六三六七七

編集後記

今年最後のほくし発行です。よいお年をお迎えください。